
チコ

梨音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チコ

【Nコード】

N9531K

【作者名】

梨音

【あらすじ】

チコはどんな人物なんだろう

どんな人生を歩んできたんだろう

どうしてあんな事件が起きてしまったんだろう

私は、事件を知る人物たちに取材をすることにした。

参考人たちが語る、チコの素顔を解き明かしていくお話です。

証言：橘 健吾（前書き）

チコとはどんな人物なんだろう

どんな人生を歩んできたんだろう

どうしてあんな事件が起きてしまったんだろう

私は、事件を知る人物に取材をすることにした。

証言：橘 健吾

2010/8/21 10:46

俺たちには、小さい頃からの約束があっただんです。

俺たちが、20歳を過ぎたら・・・

アイツを殺そうって。

俺と、チコとショータとダイは幼稚園の頃からの幼馴染でいつも一緒に遊んでました。

帰りの会が始まってるのに、俺らだけ、先生の目を盗んでホールでかくれんぼしたり・・・

ふふ・・・あの頃は本当に楽しくってさあ

幼稚園に行くのが凄く楽しみだったんですね。

先生にはよく叱られてたけど・・・はは

小学校に行ってから俺ら変わんなくて、

クラスとかはバラバラになっちゃったんだけど、

俺とチコは一緒だったかな・・・

あいつら、お前ズルイよ・・・とか言ってさ

お互いに気づいてたけど、口には出さなくて

3人ともチコのこと好きだったんですね・・・はは

そんな時、ある事件が起きたんです。

チコの親父とお袋と・・・雄太が殺されたんです。

まだ、子供だったから、周りの大人とかよく教えてくれなくて、でも、チコの顔見てたら居てもたつてもいられなくて

あいつ、絶対泣かなかったんですよ

口を・・・なんつか・・・ぎゅつと結んで

でも、目は真っ赤で・・・

で、俺らだけで、犯人突き止めてよろおつて。

それで解かったんです。

犯人が・・・

てゆーか、犯人だと思ってた奴か・・・

で、すぐにでも行こうってなったんですよ。

でも、そういう時、ショータは冷静なんですネ。

今はダメだって、まだ早いつて

小学生のちびが何やったって、意味がないって

それで、俺たち約束したんです。

20歳を過ぎたら、アイツを殺しに行こうって・・・

今となつては・・・

なんて浅はかだったんだろ

チコにばれるのは時間の問題だったんです。

え？・・・ああ・・・俺たちが4年生の時の話ですよ

まだ、お子ちゃまでしょ？・・・ふふふ

子供が、ゲームかテレビかなんかに影響されて、なんて思ったでしょ

チコもそんな感じでした。

全く本気にしてなかった。

でも、あの頃の俺たちは無知なりに本気だったんです。

あの頃って、脳がまだ柔らかいから、

色んな想像ができるんですね。

ああでもない、こうでもないって、3人で計画し合ってたんです。

で、チコも参加するって言うてきた。

今だから分かるけど、チコはそんなこと望んでなかったんです。
本当は。

でも、俺たちがやる気になってるもんだから、ほっとけなかったんですよ。

申し訳ない・・・・・・・・俺たちは・・・・・・・・本当に・・・・・・・・

本当は・・・・・・・・

ただの遊びとしか・・・・・・・・思つて・・・・・・・・なかつたのかも・・・・・・・・

チコの目は俺たちとは違つてた・・・・・・・・

チコはあの日から變つたんだ。

証言：橘 健吾 3

俺たちは、中学になりました。

チコは以前とは全く雰囲気が変わりましたね。

暗くなっただし、友達とかも作りたがらなかった。
いつも俺たちの傍にいました。

でも、ほら、中学の頃って、もおそんな感じじゃないじゃないですか。

それで、チコがうざっなくなってきたんですよ。

で、あんまり話とかしなくなっちゃったんです。

ずっと、あの約束のことは頭にありました。

でも、そんなことも全部。

全部……

拒否しようとした。

中3の夏でした。

学校の廊下で久しぶりに、チコに呼び止められたんです。
あいつは、ずっと俺を待ってたみたいでした。

突然、高校には進学しないって言ったんです。

なんとなく、チコに対する負い目とか、久しぶりの気まずさとかあって

俺は、ただ、ふーんと言えませんでした。
で、そのまま通り過ぎたんです。

チコの顔は……見れませんでした。

でも、チコの視線を感じるような気がして、

悲しい顔してるんじゃないかって、

しばらくして振り向いたんですけど、

チコはいませんでした。

それが、俺が見た最後のチコです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9531k/>

チコ

2010年10月14日16時34分発行